

## CDP気候変動プログラムの評価結果に関するお知らせ：「B-」スコアを取得

E・Jホールディングス株式会社は、環境評価の情報開示に国際的に取り組む非政府組織（NGO）であるCDPから、2022年に実施された気候変動情報開示に対する活動を評価する「気候変動プログラム」において、「B-」スコアを取得いたしました。

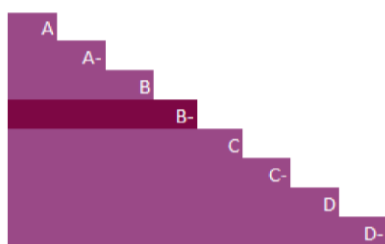


CDPは、英国の慈善団体が管理する非政府組織（NGO）であり、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営している団体で、企業の環境に対する取り組みを、毎年「A、A-、B、B-、C、C-、D、D-」の8段階で評価しています。

当社グループでは、第5次中期経営計画の初年度である2021年5月期より、ESG経営の一環として、気候変動リスクへの取組に着手し、この8月にTCFD提言に沿った情報を開示したところであり、今年度初めてCDPからの質問状に対して回答いたしました。

その結果、上位から4番目の「B-」評価に認定されました。この評価は、十分に高いものではありませんが、アジア地域の企業の平均であるCを上回り、専門サービス業の平均であるCを上回るものです（下図は、CDPによる評価結果の抜粋です）。

### UNDERSTANDING YOUR SCORE REPORT



E-J Holdings Inc. received a B- which is in the Management band. This is higher than the Asia regional average of C, and higher than the Specialized professional services sector average of C.

**Leadership (A/A-):** Implementing current best practices

**Management (B/B-):** Taking coordinated action on climate issues

**Awareness (C/C-):** Knowledge of impacts on, and of, climate issues

**Disclosure (D/D-):** Transparent about climate issues

当社グループとしては、今後も継続的に、CO<sub>2</sub>排出量の削減を進めるとともに、SBTによるCO<sub>2</sub>削減目標の認証取得等、気候変動に対して積極的に取り組んでまいります。

CDPへの回答及び評価結果の詳細は、下記を参照ください。

[【CDPによる評価結果】](#)

以上